

お知らせ Information

表紙作家「須磨はじめ氏」ブログのご紹介

当株主通信の表紙絵画は、株主の皆様から大変ご好評をいただいております。株主様アンケートでも「癒されます」「気持ちが良い」などのご意見をたくさんいただいております。この表紙の水彩画を描かれている須磨はじめ氏は、日々の創作活動や、毎年春に開催されている個展の情報、雑誌への掲載情報などをブログで発信されています。気になる方は、ぜひチェックしてみてください。

作品の画像も
たくさん
見られます



須磨はじめ氏ブログ「海の水彩画」
<https://ameblo.jp/suma-hajime/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年5月開催	同 連 絡 先 (お 問 い 合 わ せ 先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (ご利用時間：土・日・休日を除く9:00～17:00)
基準日		お 取 扱 窓 口	お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
定時株主総会	毎年2月末日	特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行
期末配当金	毎年2月末日	未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
中間配当金	毎年8月31日		
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。			
公告の方法	電子公告 (http://www.furuno.co.jp)		
	ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。		
単元株式数	100株		
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部		



表紙絵画：須磨はじめ
マリンギアライター。自ら描く
著書の挿絵から水彩画の世界
へ。プレジャーボートを素材に
した作品が多い。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

 古野電気株式会社
<http://www.furuno.com>



にっぽん丸 (神戸入港)

顧客価値の向上を目指して
品質改革や事業基盤の強化を進めます。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進国を中心に景気の回復が進みました。米国では、企業業績が引き続き堅調で雇用が強い伸びを示したことに加え、個人消費も好調で、経済の拡大基調が続きました。欧州も、生産が増え雇用・消費の改善が進むなど、回復傾向が続きました。アジア経済も概ね堅調だったものの、中国は生産・輸出・投資などが減速し、高い水準を維持していた成長率に鈍化の傾向がみられました。わが国経済は、生産活動の改善が続き、堅調な雇用・所得情勢を受けて個人消費も回復するなど、景気の回復が進みました。

そうした中、当社グループの関連する市場では、商船市場の新船建造の需要が伸び悩んだものの、プレジャーボート市場では小型艇を中心に需要の回復傾向が続きました。

当該期間の米ドルおよびユーロの平均為替レートはそれぞれ113円、122円で、前年同期に比べ米ドル、ユーロとも約3%の円高水準で推移しました。

このような状況の下、当社グループは成長市場の開拓や販売拡大に積極的に取り組みましたが、主力の船用事業では、円高の影響もあり国内・海外ともに売上が減少

代表取締役社長
古野 幸男

しました。また、産業用事業も全般的に低調で、売上が減少しました。一方、無線LAN・ハンディターミナル事業は引き続き販売が好調で、売上が増加しました。

これらの結果、当社グループの当該期間の売上高は395億4千4百万円となりました。また、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は17億円、経常利益は14億9千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億6千万円と、いずれも前年同期を下回る結果となりました。

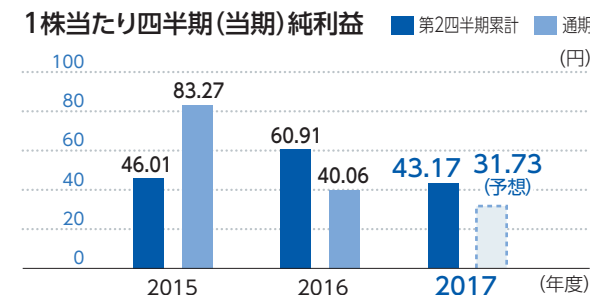
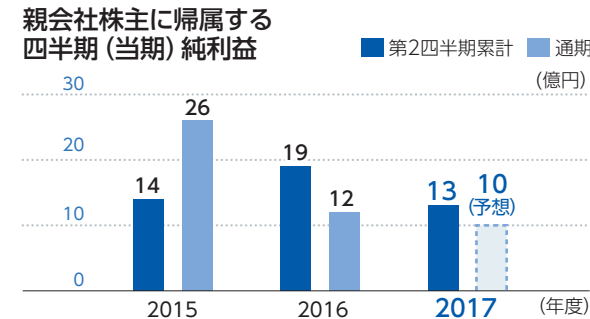
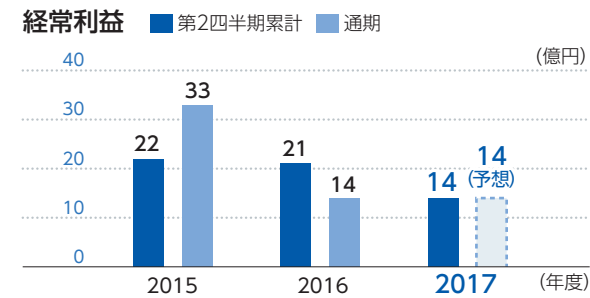
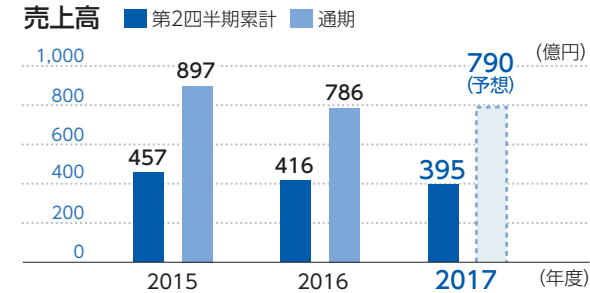
当社グループでは、顧客価値の向上を目的とした品質改革の徹底や、IoT・ICTの活用による事業機会の創出、グローバルな事業推進を支えるIT基盤の強化などに取り組んでいます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年11月

配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり4円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり4円(年間配当金は1株当たり8円)を予定しております。



四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2016年3月1日から 2016年8月31日まで	当第2四半期 2017年3月1日から 2017年8月31日まで
売上高	41,683	39,544
売上原価	26,729	25,114
売上総利益	14,953	14,430
販売費及び一般管理費	12,563	12,729
営業利益	2,389	1,700
経常利益	2,130	1,498
税金等調整前四半期純利益	2,110	1,626
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,919	1,360

四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

科目	前期末 2017年2月28日現在	当第2四半期末 2017年8月31日現在
流動資産	56,253	55,999
固定資産	19,470	19,094
資産合計	75,724	75,094
流動負債	25,887	22,689
固定負債	13,515	14,442
負債合計	39,403	37,132
純資産合計	36,321	37,962
負債及び純資産合計	75,724	75,094

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2016年3月1日から 2016年8月31日まで	当第2四半期 2017年3月1日から 2017年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,447	3,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,686	△2,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,739	△1,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,424	10,531

※連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2017年9月発売

● 船用事業 (商船向け)

船舶のビッグデータを記録する 簡易型航海情報記録装置「VR-7000S」



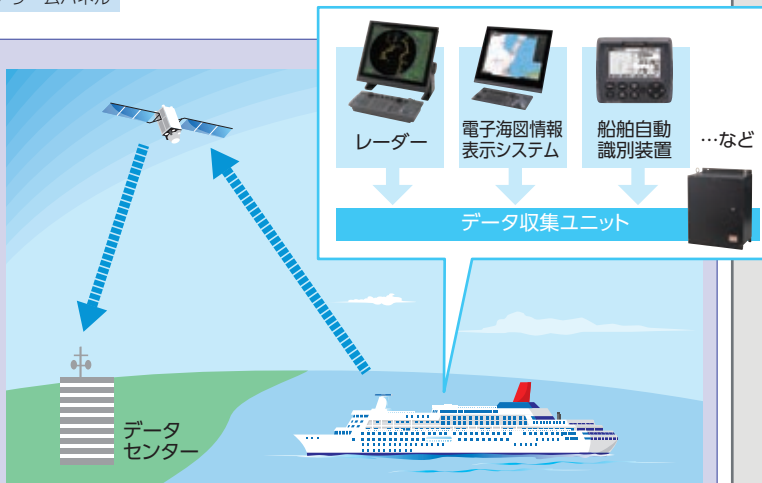
航空機には「フライトレコーダー」や「ボイスレコーダー」が装備されていますが、船舶においてこれらの役割を果たすのが航海情報記録装置です。レーダー、電子海図、エンジン、舵、船舶自動識別装置、GPS機器、マイク、無線機など、さまざまな機器から収集したデータを自動で記録。万が一、海難事故が発生した際には、これらのデータが原因究明や再発防止に役立てられます。

*記録媒体は「自己浮揚式」と「固定式」のいずれかを選択

活用例 >>

船舶のビッグデータを 航海機器の リモートモニタリングに活用

収集したデータを衛星通信経由で陸上のデータセンターへ配信することで、リモートモニタリング以外にも運航状況の把握や船体性能・経年変化・余寿命診断のデータ解析などに活用することも可能です。



事業別の概況

第67期 第2四半期(中間)

船用事業

売上高 318億円

営業利益 10億円

主な製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器

独自機能ターゲットアナライザー搭載
高性能漁労レーダー
[FAR-1426]



- 商船市場向けの売上が、日本やアジアを中心に減少しました。
- 漁業市場向けの売上は、欧州で減少したものの、欧州以外の日本やアジアなどでは増加しました。

産業用事業

売上高 54億円

営業利益 1億円

主な製品

- 医療機器
- GPS機器
- ETC車載器

生化学自動分析装置
[CA-800]



- 周波数発生装置の売上が増加しましたが、ETC車載器、カーナビゲーションシステム搭載用GPSモジュール、骨密度測定装置は売上が伸び悩みました。
- 生化学自動分析装置は中小型の売上が増加しましたが、大型の売上が大幅に減少し、生化学自動分析装置全体でも売上が減少しました。

無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高 20億円

営業利益 4億円

主な製品

- 無線LAN機器
- 無線ハンディターミナル

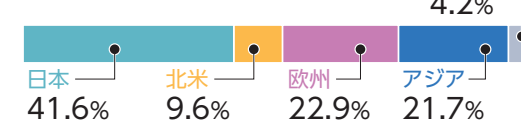
防災Wi-Fiにも対応する
無線LANアクセスポイント
[ACERA 1110]



■事業別売上高構成比



■地域別売上高構成比



シェアNo.1を目指す フルノスペイン

今年の6月に創立25周年を迎えたフルノスペインは、19名という小規模な組織ながら、スペインにおける市場シェアを飛躍的に拡大してきました。各地のディーラーと良好な関係を築き、毎年着実に利益を積み上げるフルノスペインについてご紹介します。



フルノスペイン Managing Director
José María Olle Curiel

フルノスペインの概要

- 本社所在地：スペイン マドリード
- 設立：1992年6月
- 従業員数：19名
(2017年10月11日現在)

1992年に、スペインの当時の代理店との合併により設立。当社の子会社では珍しく、海に面していない首都マドリードに拠点を構えています。イベリア半島の中心部に位置するため、各港へのアクセスは便利です。



得意の漁業市場において 順調に業績を拡大

フルノスペイン（通称：FESA）では主に漁船、商船、プレジャーボート市場向けの販売・サービスをディーラー経由で行っています。中でもFESAが得意とするのは、遠洋マグロ船、沿岸漁船をはじめとする漁業市場です。

スペインはEUで最大の漁業人口を誇り、とりわけ約70隻が大西洋やインド洋を中心に操業する遠洋マグロ船は、重要な市場の一つです。近年では2013年から2015年頃まで大型マグロ船の建造ブームがあり、約30隻が建造されました。FESAは、そのうちほぼ全隻の受注に成功し、大型スキャンングソナーや大型レーダーなどの拡販を成し遂げました。新造船ブームの収束後も大型スキャンングソナーの導入を成功させるなど、換装向けに順調に販売を伸ばしています。



職場の様子



創立25周年記念式典の出席者。136名のうち、約7割をディーラーの方が占めています。このディーラーとの強い結びつきが、成長の原動力となっています。

サービス品質向上のため、 ディーラーの技術力強化にも注力

サービス品質の向上にも注力しており、毎年数回にわたり、ディーラーの技術者向けに商船機器・漁業機器のトレーニングを実施しています。FESAの販売やサービスを支えているディーラーの技術力強化は、競合他社との差別化や、顧客満足の上昇を図るうえで必要不可欠です。

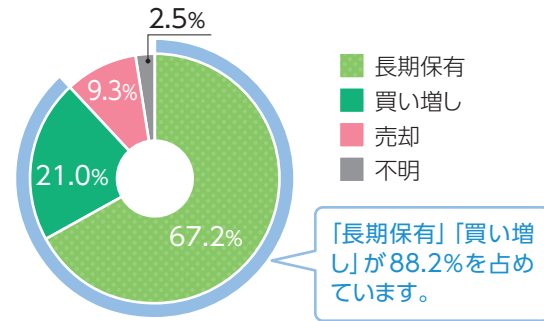
また、FESAではこれまでに培った経験を活かし、スペイン以外の市場の開拓にも取り組んでいます。2014年にポルトガル市場に進出し、昨年からはキューバ市場の開拓も本格化しました。

今後は漁業市場のみならず、商船、プレジャーボート市場においても市場シェアを拡大し、マーケットリーダーを目指して挑戦を続けていきます。

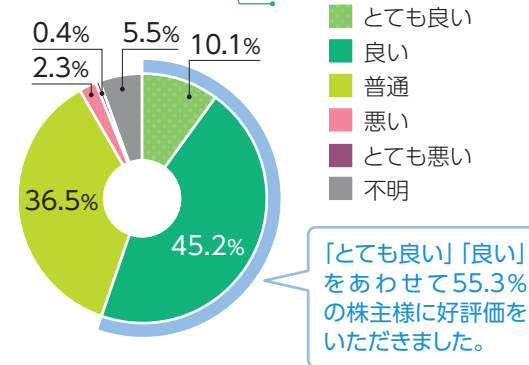
株主様アンケート結果のご報告

■実施期間：2017年5月26日～2017年6月30日 ■回答者数：820名(回答率：15.4%)

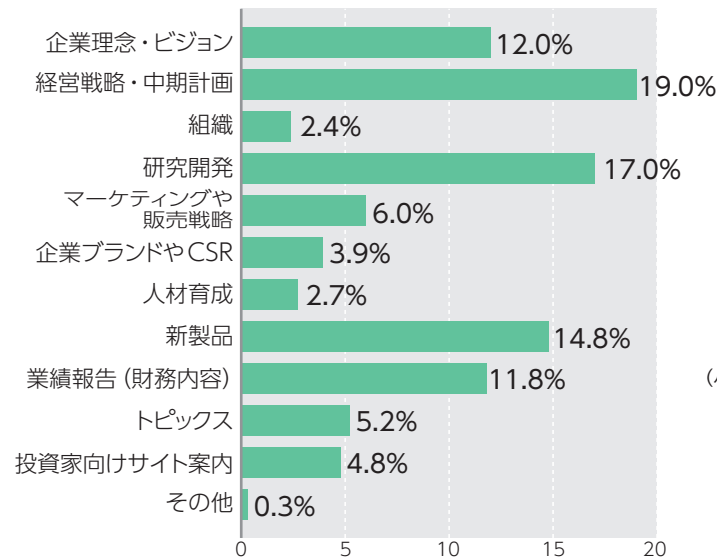
当社株式の今後の保有方針



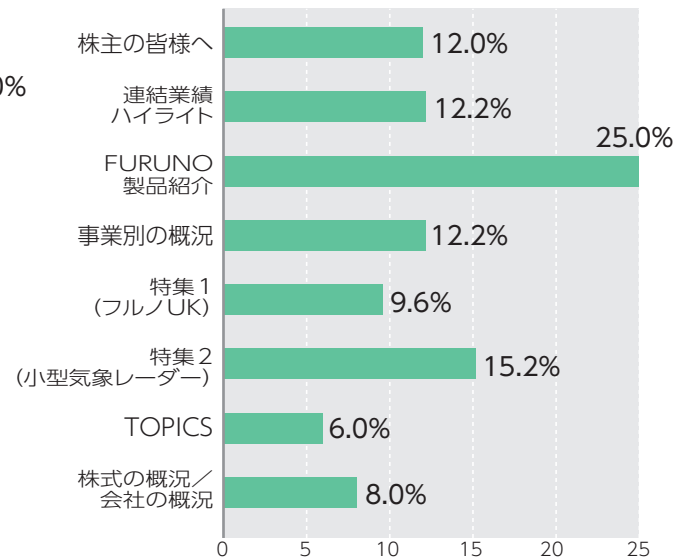
株主通信への評価



株主通信に掲載すべきと思われる記事



楽しく読めた、参考になった記事



前号の株主通信にて実施したアンケートに、多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご要望や激励のお言葉などを多数いただき、大きな励みとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げるとともに、アンケート結果の概要についてご報告させていただきます。

「自由ご記入欄」にいただいたご意見

- 貴社の現在の取り組みが、どのように社会に役立っているか拝見してわかりました。
- 中期計画を開示してほしい。

いただいたご意見をもとに、今後もさらなる情報の充実に努めてまいります。

- 事業別の売上高だけでなく、事業別の収益状況も知りたい。
- 業績に関して地域別のデータや製品の詳しい利益情報など掲載してほしい。

今回の株主通信より「事業別の概況」(4ページ)へ事業別営業利益と地域別売上高構成比を追加いたしました。

- 新製品の紹介が足りないように思います。
- 新製品を含め、製品紹介を多く載せていただきたい。

今回の株主通信より3ページの「製品紹介」をリニューアルいたしました。新製品を中心に、今後も積極的に製品やサービスについてご紹介してまいります。

- 今回のUKのように国内外の支店について知りたいです。
- 海外の情報が知りたい。

今回の「特集」(5～6ページ)では、スペインの販売・サービス拠点についてご紹介しています。引き続き、海外の情報もお伝えしてまいります。

- カレンダーは希望する株主全員に配送するべきでは？
- カレンダーを楽しみにしています。

当初の予定を変更し、「FURUNOカレンダー2018」はアンケートにご協力いただいた方全員(無記名の方を除く)に送付させていただきます。(12月上旬から順次発送予定)

皆様からいただいた貴重なご意見を、今後もIR活動や株主通信の誌面づくりに活かしてまいります。

「フルノ・パナマ」の事業活動を開始

2017年4月、「フルノ・パナマ」の事業活動を開始しました。フルノ・パナマは、2016年に拡張工事が完了したパナマ運河を運航する船舶の大型化と隻数の大幅な増加を見据えて、特に商船市場向けの販売・サービスを充実する目的で設立しました。今後は現地の販売代理店から移管した販売・サービス機能を活用しながら、商船市場向けおよび漁業市場向けの事業を展開していきます。また、フルノ・パナマの親会社となるフルノUSAでも、フルノ・パナマを拠点に物流・サービス体制を強化することで、北中南米地域での顧客サポートを充実させていく方針です。



「ジャパン・レジリエンス・アワード2017」で最優秀レジリエンス賞と優秀賞をダブル受賞

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催する「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017」の企業・産業部門で、最優秀レジリエンス賞と優秀賞をダブル受賞しました。当社は今後も技術・製品・サービスを活用した各種ソリューションの提供を通じて、レジリエンス社会(災害に強い社会)の構築に貢献してまいります。



表彰式の様子



ジャパン・レジリエンス・アワード
2017

最優秀レジリエンス賞を受賞した「気象観測システム」

気象レーダーの高精度化・小型化の実現により、従来観測の難しかった局所的な気象変動を正確かつ早期に検知。局所的な豪雨災害に対する被害軽減への活用が期待されています。



優秀賞を受賞した「GNSS自動変位計測システム」

火山や地すべりなどの前兆として現れる微小な変位を自動で計測・監視。日本各地で地盤(火山、地すべり、のり面など)や土木構造物(ダム、橋梁など)、人工構造物の建設工事時の変位計測などに活用されています。



株式の概況/会社の概況

■ 株式の状況 (2017年8月31日現在)

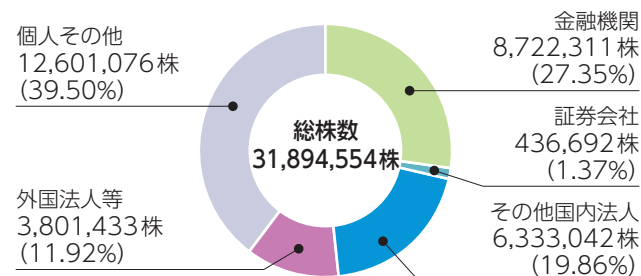
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
自己株式	383,311株
株主数	5,388名

■ 大株主の状況 (2017年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,386	13.92
古野電気取引先持株会	1,026	3.26
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	992	3.15
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	942	2.99
GOVERNMENT OF NORWAY	825	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	809	2.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	670	2.13
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	605	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	604	1.92

※持株比率は、自己株式383,311株を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況 (2017年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式383,311株(1.20%)を含んでおります。

■ 会社概要 (2017年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,922名(連結) 1,736名(個別)

■ 役員 (2017年8月31日現在)

代表取締役社長	古野 幸男
専務取締役	小池 宗之
常務取締役	井澤 亮三
常務取締役	石原 眞次
常務取締役	和田 豊
取締役	矮松 一磨
取締役	岡本 達行
取締役	西森 靖
取締役	大矢 智資
取締役	藤田 尚住
社外取締役	寺山 孝男
社外取締役	樋口 英雄
常勤監査役	坂井 讓
社外監査役	小美野 廣行
社外監査役	村中 徹

■ 配当金の推移

